

提出日 平成 29 年 6 月 1 日

提出者	大本 千香子
視察日時	平成 29 年 6 月 1 日 14:00~15:30
視察先	サポートルーム あすはれ (広島市就労準備支援事業所) 広島市中区鉄砲町 8-15 キシモトビル 2F ☎082-227-7127 (受託者)株式会社 アソウ・ヒューマニーセンター広島支店
目的	就労準備支援事業の運営状況
成果・ 所感	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市は社会福祉協議会に「くらしサポートセンター」生活困窮者支援事業を委託されているが、受けられる相談ケースの中で、就労まで一気に進めない方が多いことを受け、社会への適応はじめての一步を支援するための「就労準備支援事業」を 28 年度より開始された。 ・アソウ・ヒューマニーセンターが受託し、「あすはれ」を運営。28 年度実績は利用者 65 人、このうち就活や面接等に進んだ方が 8 人。中区のあすはれまで来れない方のために、区の社協と連携し、各区まで出かけて相談に対応されている。 ・一日の流れとしては、まず来ることが第 1 段階。挨拶、身だしなみ、言葉遣い、コミュニケーションの取り方、簡単な作業などを通じ自信の回復、パソコン学習など基本的なところを押さえて進める。 ・毎月、体験プログラムを用意し食事管理、社会とのかかわり方など体験。 ・基本がほぼできるようになれば、就労支援 A 型で就労を始めたり、外部の会社の面接活動等に挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> ・家から出られない状態の方が一気に就活には進めないのが、大事なステップだと思う。 ・行政や社協などとも連携を取りながら、一人一人のステップアップに取り組まれている。 ・3 人の就労支援員では、パワーが足りないように思う。人材の確保と予算付けが必要。 ・府中市のようにパイの小さい自治体では、分化してできないかもしれないが、現在の就労支援 A にくっつけて実施もできるのではないかと感じた。 ・生活困窮者でひきこもり、高齢の親の年金だけが収入のパラサイトひきこもりの 40 代は多い。親に何かがあればたちまち社会との接点がなくなる危険が多い。早い手当てを考えなければ大変なことになると思う。
旅費	規定旅費： 府中ー広島市 4,900 円